

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市地域中核施設プラザノース
(2) 施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区宮原町1丁目852番地 1</p> <p>②施設の設置目的 市民の生涯学習及び芸術文化情報の発信の場として地域の活性化や地域づくりを支援する活動拠点になるとともに、地域特有の文化資源である漫画をもとにした芸術創造・ユーモア機能を活かした多彩な事業を展開する。</p> <p>③施設の概要(敷地面積:26,015㎡、延床面積:20,278㎡、地上4階建て) 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設 主な施設: ●北区役所 ●北図書館 ●ホール(403席) ●楽屋(5室) ●リハーサル室(3室) ●多目的ルーム(227席) ●音楽スタジオ(3室) ●和室(4室) ●書斎(5室) ●キッチンスタジオ ●セミナールーム(7室) ●陶芸アトリエ ●絵画アトリエ ●造形アトリエ ●CGアトリエ ●交流スタジオ ●ノースギャラリー(8室) ●ユーモアスクエア ●自由読書スペース ●映写室 ●遊戯室 ●託児室 ●駐車場(183台) 等</p>
(3) 指定管理者	プラザノースマネジメント株式会社
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成20年5月1日～令和5年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成30年度484,249千円、令和元年度495,988千円、令和2年度503,290千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 123,119人(前年度310,061人) ・稼働率24.4%(前年度36.3%) ・利用率46.4%(前年度67.2%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の受付・利用許可、使用料の徴収 ・PR等情報提供、友の会運営、調査・評価・分析 ・各種文化芸術事業(公演・各種講座・展覧会)の実施 <p>「モアYOU寄席 小遊三・三三 二人会」「ノース狂言会『野村万作の狂言の世界』」「Domain of Art 26 中島崇展『Void / Valve / Volume』」「国際漫画フェスティバル・インさいたま2020」「2020さいたま市ユーモアフォトコンテスト」などの大型事業を実施した。</p> <p>⇒ホール事業では新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、「プラザノース サマーステージ2020」「劇団トマト座ミュージカル『オズの魔法使い』」「名画鑑賞会」「ノース・ぶらっとコンサート」「ノース・ティータイム・コンサート vol.19、vol.20、vol.21」「ノース・ティータイム・スペシャルライブ ブラック・ボトム・ブラス・バンド」は定員減での開催とし、3密発生等の防止を適宜見直し工夫しながら実施した。緊急事態宣言発令に伴い一部公演においては開催月を変更して延期開催することで、年度内計画全ての公演を実施し、参加者からは多数の感謝の声をいただいた。</p> <p>⇒講座では、引き続き高齢者のための健康増進プログラムである「落語入門教室」や「発声講座」、中高年向け音楽講座に毎回多数の応募があり、内容を変更しながら継続して実施している。食農教育プログラムでは、健康志向の高まりから前年より取り入れた「雑穀料理」講座が好評を得たため、実施回数を増やして継続した。自分力を磨くメディア講座では、小学校でのプログラミング授業の導入もあることから、子どもを対象としたタブレットを使った講座や、プログラミングでロボットを動かす講座を新規に取り入れた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止における諸室定員50%のガイドラインにより講座参加者の定員を削減しないよう、極力大型の会場に変更して実施した他、実施月を変えて延期開催するなどし、コロナ禍においても年度内計画の約76%の講座を実施、講座全体の参加率も90%以上となった。</p> <p>⇒「Domain of Art 26 中島崇展『Void / Valve / Volume』」では、ノースギャラリー内の展示に加え、入場者増を目的としたプラザノースで初の試みとなるノースギャラリー前の共有スペースを利用した展示を開催し、会場に訪れた来場者はもちろん行き交う人々の目を楽しませた。</p>

②維持管理業務の状況

◇建築物保守管理業務

・建築設備定期検査[年1回]

◇建築設備保守管理業務

(電気設備)

・自家用電気工作物、非常用発電設備点検(法定点検含む)[各年12回]

(空調設備)

・吸収式冷温水発生機、空冷チラーユニット、空調用ポンプ類、エアハンドリングユニット、外調機、ファンコイルユニット、空冷ヒートポンプ、室内空調機、全熱交換機定期点検、煤煙測定、冷却塔清掃点検[各年2回]

・吸収式冷温水発生器チューブ洗浄、冷却塔補給水槽清掃点検、冷却塔薬剤補充[各年1回]

・空気清浄機定期点検、空調機プレフィルター、中性能フィルター清掃[各年6回](給排水設備)

・上水受水槽、雑用水受水槽、井水受水槽清掃、上水加圧給水ポンプユニット、揚水ポンプ、雑用水加圧給水ポンプユニット、冷却塔補給水加圧給水ポンプユニット点検、雨水ろ過装置年次フィルター点検、フィルター交換整備[各年1回]

・汚水貯留槽、グリストラップ清掃[各年2回]

・雨水ろ過装置定期点検、雨水ろ過装置薬剤補充[各年6回]

(昇降機設備)

・エレベーター、エスカレーター点検(法定点検含む)[各年12回]

(消防設備)

・消火器具、自動火災報知設備、避難器具、不活性ガス消火設備、ガス漏れ火災警報設備法定点検[各年1回]

・防火設備定期検査(防火シャッター・防火扉)[年1回]

◇舞台機構・舞台設備保守管理業務

(舞台)吊物操作盤マニュアル運転動作、吊物操作盤設定運転動作

(照明)主調光卓動作確認、灯体点灯・回路・機材点検

(音響)主調整卓・副調整卓動作確認点検、スピーカー・アンプ出力確認・回路点検、マイクロフォン動作確認・外観点検[各年12回]

(舞台)リモート操作パネル運転動作点検、音響反射板、床面点検・清掃

(照明)フロアポケット清掃、ピンスポット点検・清掃

(音響)周辺機器動作確認・点検[各年6回]

(舞台)備品点検・清掃

(照明)サスバトン・灯体清掃

(音響)ビデオプロジェクター投影・操作卓点検[各年4回]

◇備品保守管理業務等

・ピアノ4台定期点検含む調律[年4回]

◇外構施設保守管理業務

・噴水水景設備点検、薬注補充[年2回]

・地下タンク漏洩検査(3年ごとに実施)[年1回]

◇清掃業務(定期清掃含む)[毎日]

◇植栽保守管理業務[通年]

◇警備業務[毎日]

◇環境衛生管理業務

・害虫生息調査[年12回]

・簡易専用水道、飲料水質、消毒副生成物、レジオネラ属菌検査[各年1回]

・空気環境測定、大腸菌検査(雑用水・井水)[各年6回]

◇設備日常運転管理業務[毎日]

◇駐車場等運営業務実施[毎日]

◇一般廃棄物収集運搬処理業務[毎週]

◇産業廃棄物収集運搬処理業務[年4回]

	<p>③その他(自主事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール事業では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、396名定員のところ2公演144名定員、1公演180名定員に変更し開催した。前年同様、「三浦一馬バンドネオン・コンサート」では入場者数の増加を狙い、チケット料金の割引制度に「ペア割」を導入したこともあり、3公演の入場者数平均は定員の約90%となった。 ・講座事業では、引き続きアンケートで多くの要望が寄せられた大人向けのヨガ教室「楽しいストレッチヨガ」を開催した。また、前年新規開講した未就学児童を対象とした継続的な体操教室「こども体操教室」は人気が高く好評であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、全体的に中止講座が多くなる中でも、近隣商業施設である島忠ホームズと連携した講座や、さいたま市の文化発展と施設活用を目的とした「陶芸＋盆栽を楽しむ」講座を実施した。これは陶芸アトリエで制作した盆栽鉢に植替えをするという連続講座で、大変好評であった。その他もアンケートより多様化するニーズを吸い上げた新規講座を実施し、いずれの講座も参加者から好評を得た。
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 503,290千円（前年度 495,988千円） <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務 172,366千円（前年度 168,462千円） ・修繕業務費 19,062千円（前年度 22,727千円） ・コミュニティ、ホール等運営業務費 169,037千円（前年度 165,209千円） ・図書館運営業務費 83,532千円（前年度 81,640千円） ・駐車場等運営業務費 21,024千円（前年度 20,548千円） ・市の事業に関する運営業務費 38,268千円（前年度 37,401千円）
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・第2・3リハーサル室でのダンス目的利用者からフィルムミラーの増設要望が過去複数寄せられていた。同室ではダンス目的利用者が多いこともあり、フィルムミラーを各室1台ずつ増設、常時2台設置とし利用者利便性の向上を図った。購入に合わせて備品設置場所については取り出しやすい場所に変更し、併せて室内の原状回復図を更新した。 ・第4和室(茶室)利用者から、高齢のため正座での稽古がしにくいとの意見があった。そのため、正座椅子を新規購入し高齢者や正座ができない方にも難なくご利用いただけるよう和室備品として貸出しを開始した。 ・アトリウムのテーブルについて、学生の学習目的による占拠に対して厳しい意見が複数寄せられていた。緊急事態宣言に伴う臨時休館中はイス・テーブル共に撤去していたが、その後の感染状況と密防止を鑑みテーブルは期限を設けず撤去し、イスのみ距離をとって設置とした。その結果、アトリウムのイス・テーブルに関する指摘はなくなった。 ・貸出諸室の空調操作方法がわかりづらいとの指摘が複数あったため、全諸室の空調操作盤に操作や温度設定方法を掲出したところ、同様の意見はなくなり皆さま快適に利用いただけるようになった。 ・音楽系諸室のアンプ類を使用する際、利用者自身にケーブルの持ち込みを依頼しているが、案内の齟齬により使用できないことがあった。また、延長コードが短いとの意見も複数寄せられていたため、持ち込みを失念された方でも問題なく使用できるよう各種ケーブル類と延長コードを購入しイレギュラーに備えた。 ・例年実施している利用者懇談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、従来の懇談会形式ではなくアンケート形式で実施した。8つの団体・サークルの代表者にアンケートを送付し回答いただき、意見・要望を幅広く伺うことができた。要望については関係各所も含め共有・対応を行った。 ・セミナールームの原状回復時に机の設置位置がわかりづらいとの意見が寄せられたため、机前列の定位置に目印を付け原状回復にかかる時間を短縮し利用者利便性の向上を図った。 ・改善した意見・要望についてのフィードバックは年に2回ホームページで行っている。また、年度末3月に広報誌「プラザノース通信」に掲載し、施設内でも周知している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ノースギャラリー利用者より照明の色合いについて、黄色味が強く展示写真を撮影すると本来の作品の色合いが変わってしまうため、自然光に近い電球に変えてほしいとの要望があった。さいたま市と協議し、ノースギャラリー内すべての電球を昼白色の電球に交換した。 ・ノースギャラリー8利用者より一部の壁が汚れているとの意見があり、年末年始休館中にノースギャラリー8内の一部白壁及びノースギャラリー1～7防火扉の塗装修繕を併せて実施した。 ・ノースギャラリー備品の展示台30台と彫刻台50台について、利用による傷・劣化が多数見られたため塗装修繕を実施した。 ・緊急事態宣言発令に伴う臨時休館期間中に3階廊下の一部白壁塗装及びEV出入口白壁塗装を実施し、また、3階EV出入口横の壁が台車等接触により破損頻度が高かったため、破損防止のために新規でコーナーガードを取り付けた。 ・北図書館閲覧机天板のカッター傷等が増えたため、ペン字書きに引っかかるなどの報告を受け、業者と協議を繰り返し、現場作業で修繕可能な新しい作業方法(メラミン化粧板を天板に貼り付ける手法)にて修繕を行った。 ・和室利用者より畳の傷みについて意見が寄せられたため、点検日を中心に貼り替え作業を実施し、和室の閉鎖期間を設けずに第1～4和室すべての畳の張り替えを行った。 ・音楽スタジオ2及び第6セミナールームの利用者よりスタッキングチェア座面及び背面劣化の意見があったため、指摘部の部品交換を実施した。
(8) その他	<p>●新型コロナウイルス感染症拡大防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館及び事業において、さいたま市の「新型コロナウイルス危機対策本部員会議」の決定に伴うさいたま市からの示達・ガイドラインに基づき「感染症拡大防止対策」と「正確な情報提供」を中心にスピード感をもった対応を随時実施した。 <p>具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合インフォメーションカウンター及びプラザノースホームページ、館内で最新情報を随時発信した。 ・日々施設内対応方をまとめた「新しい生活様式対応方リスト」を作成・更新し、施設内関係各所との情報共有を密に行い、相互連携を行った。 ・スピード感のある情報提供により、利用者へ安心感の提供を行った。 ・消毒については、各出入口に消毒液を設置した他、貸出備品については消毒方法を明確に定めた上で消毒を実施した。また、利用者へ消毒セットを配布し貸出備品の消毒依頼を行った。 ・換気については、利用のある諸室では事前に換気システムを稼働し、音の影響がない催しの場合に限り扉開放を許可する等、利用者が安心・安全に利用できるように配慮した。 ・抽選会については、3密防止のため従来の2会場から3会場へ増やし、可能な範囲で広い諸室を会場にして開催した。 ・職員の感染症拡大防止対策については、マスク着用や毎朝の検温指示、消毒液の設置等の基本的な対策を義務付けた他、総合インフォメーションカウンターに飛沫防止用アクリルボードの設置、フェイスシールドの配布を行った。また、アクリルボード設置により利用者・職員双方の声が聞こえづらいとの意見が多発したため、マイクを設置し快適にコミュニケーションを取れるよう対応した。管理事務室内においても、体温計設置による出勤時の検温、各職員デスク間の飛沫防止フィルム設置、事務室内の扉開放及び扇風機稼働による換気等、感染症防止対策を徹底し実施している。 <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年実施している熱中症対策(まちのクールオアシス)について、新規での取り組みも含め市民へ広く呼び掛けた。結果として、埼玉県ホームページ内「まちのクールオアシス」取組事例として紹介された。 ・さいたま市の申請書押印見直し指針の協力依頼を受け、還付申請書や委任状の行政手続き文書における押印欄を廃止した。併せて、施設内で取扱っているすべての申請書等の押印欄についても廃止した。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用促進と施設の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・書斎の利用が机上にTV・DVDを置かない3・4に偏っていたため、1・2・5についても同様に變更した結果、需要が多く稼働率が大幅に上昇した。 ・ホールと多目的ルームにおいてプロジェクターが旧式であり持込PCと仕様が合わないとの意見が複数寄せられていた。関係各所と協議し、別メーカーのHDMI-VGA変換アダプタを2個ずつ常設したところ、現在は機器のトラブルなく順調に運用を行っている。 ・陶芸アトリエの乾燥室について、陶芸アトリエ利用団体増加に伴い作品保管場所の拡張が課題であったため、新規でさん板を購入し作品保管場所を増設した。また、作品移動専用ラックも一部サークルの作品保管場所になっていたため、さん板に保管場所を移動したところ利便性が向上し利用者から満足の声をいただいた。並びに、乾燥室に手桶と雑巾の常設要望があったため、要望通り対応を行った。 ・貸出施設の相談時にスムーズな案内ができるよう、曜日及び利用区分ごとの空室状況をまとめた資料を、既に作成していた第1～6セミナールームに加え交流スタジオと第1～3和室分も作成し窓口業務で活用している。 ・CGアトリエにおいて、新規で案内チラシを作成し館内配架した他、多目的ルーム及びノースギャラリー附属の控室が小規模であることから、同諸室イベント時の控室として利用いただけるよう打合せ等での案内を開始した。 ・館内掲示物で諸室のPRを行い利用促進を図っているが、諸室毎に需要が高まる時期に合わせてポスターやチラシ等を作成し掲出している。
情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・さいたま市プラザノース公式YouTubeチャンネルを開設し、展覧会の様子をまとめた告知動画を2件、子どもから大人までを対象とした工作やヨガ、写真など様々なジャンルのワークショップ・講座を6件、ホール公演出演者による事業告知を1件配信した。 ・総合インフォメーションカウンター横の電光掲示板(デジタルサイネージ)に諸室紹介と事業情報を追加し施設全体の案内強化に努めた。 ・ホームページ内施設紹介においては、定期的に更新している掲示物に合わせ常に最新情報を掲載できるよう更新を行っている。 ・各公演・講座の情報発信については、ネットを通じたWeb掲載や無料情報誌等の媒体等、幅広いツールを活用し実施している。 ・地域中核施設プラザイースト・プラザウエスト及び市内3施設に赴き、施設案内資料等の情報交換を行い情報提供の強化を図った。各施設に関する問い合わせ時に、基本的な情報についてはプラザノースでも提供できるようにすることで、利用者利便性の向上を図った。 ・コロナ禍で利用者主催の催し物の中止が増加し、特に不特定多数の参加者が参集する催しの中止をお知らせするために、「催し物キャンセル情報掲示板」を総合インフォメーションカウンター横に常設し、直接連絡できない参加者への周知ツールとして活用していただいている。
ユーモアに係る企画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・あらい太朗氏(漫画家・さいたま観光大使)・小河原智子氏(似顔絵師)を講師に招き、似顔絵の描き方のコツを学ぶ講座「漫画を考える一日」を開催した。 ・ノースギャラリー7で開催の「地域文化を知る～楽天をめぐる～」では、北沢楽天の生涯を描いた映画「漫画誕生」の中で紹介された作品の展示や、映画の小道具・出演者によるサイン色紙等を展示し、楽天の世界を満喫できる内容とした。また、展覧会関連イベントとしてユーモアスクエア展示スペースでは、北沢楽天を生涯支え続けた妻・いの夫人の物語を再現した「あらい太朗の『雷になったいのばあちゃん』ぼんぼん版画展(あらい太朗氏 作・構成)」を開催した。

・あらい太朗氏司会の「ユーモア音楽祭inさいたま『マンガチック音楽会2020』」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年の実施内容から変更し、10名以下の吹奏楽バンドや声楽グループなど少人数でのステージで、バラエティーに富んだ内容を幅広い世代の方にお楽しみいただいた。

・マジシャンを講師に招き、小道具を手作りしてマジックに挑戦する講座「モアYOUワークショップ『やさしいマジック教室』」を開催し、小学生を中心にプロの技を学んだ。

・若手落語家による落語会「ノース・ぶらっと寄席」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員減での開催としたが、好評につき継続的に実施している。

・「ユーモアフォトコンテスト」と「北沢楽天漫画大賞」の合同表彰式では、漫画会館と調整しながら新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し安全に開催することができた。また、コンテストの応募は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため1カ月程度、期間を短縮して公募したがチラシの送付先の精査等により、ほぼ前年比同様の1,152名（前年1,194名）の応募があった。

接遇レベルや窓口業務改善による
市民サービスの向上

・年に1回、外部講師による受付スタッフ向けの接遇研修を行っており、毎年プラザノースの現状に即したオリジナルのプログラムを実施している。今年度はコロナ禍での対応及び、クレームと高齢者対応に関してグループワークを事例研修を通して行った。利用者との信頼関係構築を目的として、前例のない事態に対する対応の共有と実践を行いスタッフの接遇レベル向上を図った。

・多岐にわたる諸室利用ルールを共通の認識で効率よく案内できるようにするため、スタッフの案内用ツールとして「目的別利用可能諸室早見表」を新規で作成し窓口業務で活用している。また、ホームページからでも閲覧できるよう施設紹介ページ内に新たにリンクを掲載した。

・ホームページ内のダウンロード可能な申請書類に、新たに「利用予約変更・取消申請書」及び「予約振替申請書」を追加した。コロナ禍で予約取消が急増しており、また窓口での滞在時間短縮のため自宅等で記載できるよう対応した。

・定期的実施しているスタッフミーティングは、従来事務連絡共有や各種研修を実施してきたが、今年度より事前に課題となる議題を設定し、課題解決する場に変更した。これにより、コロナ禍における利用者対応等の課題解消を行うことができた。

・利用者からの指摘や施設としての課題解決を目的としたマナーアップキャンペーンを実施した。今年度は「感染症拡大防止」・「利用時間厳守」・「和室点検強化」の3テーマに沿って啓発を行った。和室については新たに汚損・破損状況の資料を作成し、点検業務等対応の効率化を図った。

・入社後3年未満の受付スタッフを対象に、業務スキルチェックシートを用いてカウンター業務レベルの確認を行い、不安のある業務については個別に研修を実施し窓口スタッフ全員のスキル向上に努めた。

・プラザノースのホームページに還付申請書と委任状とその記入例をダウンロードできるよう掲載しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための利用取消に伴う還付申請手続きが増加した。還付申請書への記入は細かい点が多く分かりにくい部分もあるため、各記入例を更新しどなたでも容易に記入できるよう改善を行った。

・鍵の受け渡し時刻について、以前より利用者から繰り上げてほしいとの要望が多く寄せられていた。さいたま市からの依頼もあり対応方を協議し、事前周知期間を設けたうえで利用開始時間の5分前から10分前に変更し、運用を開始した。特に混乱なく運用できており、利用者満足度の向上に繋がった。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」

- ・「さいたま市コミュニティ施設条例」「同条例施行規則」を遵守し、さいたま市の代行者として平等かつ公正な利用に努めた。
- ・新型コロナウイルスの影響で、今年度は臨時休館や新規予約受付休止、利用時間制限、利用人数制限等、様々なルール変更を強いられたが、正確な情報を迅速に提供し、また館内においても関係各所と協力し利用者目線で安全の確保に努め運営を行った。
- ・コロナ禍での利用においては、密防止・消毒・換気を始め利用者ニーズが変化している。コロナ以前では諸室扉を開放して利用することを禁止していたが、十分な換気を求める声が多く扉開放を許可し、併せて事前に換気システムを稼働させる等柔軟に対応を行っている。
- ・接遇研修ではコロナ禍での利用者対応をテーマにし取り組む等、すべての利用者が快適に安心して利用できるよう市民サービスの向上に努めた。
- ・共有部に設置しているアンケートから幅広く意見・要望を取り入れた他、貸出施設利用後の報告書や窓口に寄せられる細かい要望についてもできる限り耳を傾け改善を進めた。
- ・貸出施設に関するルール改訂（鍵の受け渡し時刻変更、押印欄削除等）により市民サービスの向上が図られた他、過去要望のあった備品の運用を開始することで利用者満足度の向上と利用促進に繋がった。

「経費の削減」

- ・事業については内容や水準を維持したうえでより効率的な内容・効果的なスケジュールを常に検討する他、フリーペーパーや新聞等を有効活用し経費削減に努めている。
- ・前年同様、ホール等の大規模諸室で利用終了後の照明・空調を速やかに落とす、アトリウム内の必要照度以上の400W水銀灯の取り外し、館内2階廊下部分の吹き上げ空調の停止等、日常的な節電行動の継続を図った。また、今年度は緊急事態宣言発令に伴う臨時休館期間(54日間)があったこともあり、施設全体(北区役所、北図書館、その他)の電力使用量が前年度比91.5%、その他のみ(北区役所、図書館を除いた部分)は88.6%となった。節電対策実施前(東日本大震災による)の平成22年度比で施設全体75.6%、その他のみ76.2%となった。

「適正な管理運営の確保」

- ・施設内の安全を最優先に、迅速な修繕・各種法令の遵守に努めた。
- ・個人情報保護及びリスク回避に関する研修、ITセキュリティ教育、コンプライアンス講習、リスクマネジメント研修、労務管理研修、チームリーダー研修、SDGsセミナーを受講し、危機管理意識の強化を図った。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染症発生時の対応フローを危機管理マニュアルに追加した。
- ・総合インフォメーションカウンターでの事件発生時の対応フローは定期的に周知を行い緊急時に備えけるとともに、新型コロナウイルスの影響で入場制限を行っている自由読書スペースの監視担当者用に、緊急呼出ブザーを新たに設置し事務室内の職員が迅速に対応できるようにした。
- ・消防訓練と救急救命講習は新型コロナウイルスの影響で中止したが、消防設備訓練は例年通り実施した。
- ・予防保全として電気設備機能維持のため、蓄電池設備の整流器部品交換を4月に実施した。
- ・消防設備機能維持のため、誘導灯バッテリー交換を7月、2月に実施した。
- ・予防保全として経年による空調機の熱交換効率低下を改善するため、区役所3階エアコン室内機・熱交換器の薬品洗浄を2月に実施した。1、2階の洗浄は前年度までに実施済みで、北区役所内全ての洗浄を完了した。
- ・メーカー推奨の予防保全として北区役所1～3階空調室内機の基板交換を2月に実施した。
- ・予防保全として空調制御機器機能維持のため、制御機器バッテリーおよびオペレーターインターフェースの交換を1月、2月に実施した。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価 **(B)** ※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・新型コロナに伴う、新しい生活様式を踏まえ、動画配信を開始するなど、市民サービスの向上に努めていた。
- ・部屋の鍵の貸出時間の見直しを行い、市民サービスの向上に努めていた。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・新型コロナ感染防止対策に、文化庁の補助金を活用するなど、効果的な方策を検討し、適切に経費の削減に努めていた。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年とは異なる管理運営が求められたが、適切に行われていた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。